

# 日本センチュリー交響楽団 びわ湖定期公演 Vol.16

## 秋山×センチュリー×故郷凱旋・久末航が びわ湖で奏でるドイツ音楽の世界

国際的に大注目の新鋭ピアニスト  
地元・大津市出身、  
ミュンヘン国際音楽コンクール第3位

ピアノ

### 久末航

©Janine Guldener



Wataru Hisasue

指揮

### 秋山和慶

©s.yamamoto

円熟期を迎えてなお活気溢れる稀代のマエストロ  
日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー



Kazuyoshi Akiyama



©Masaharu Eguchi

◆ウェーバー

歌劇「オベロン」序曲 J. 306

C.M.v.Weber: Overture to the Opera "Oberon" J. 306

◆ベートーヴェン

ピアノ協奏曲 第1番ハ長調 作品15

L.v.Beethoven: Concerto for Piano and Orchestra No.1 in C major, Op. 15

◆メンデルスゾーン

交響曲 第3番 イ短調 作品56

「スコットランド」

F.Mendelssohn: Symphony No.3 in A minor, Op. 56 "Scottish"

# 2024 1/28 [日]

開演 15:00 (開場 14:15) 一般発売 10月2日(月)

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール大ホール S席4,500円 A席3,500円 B席2,500円 車椅子席1,500円 (税込・全席指定)

※センチュリー会員・びわ湖ホール友の会会員は全席種500円引き(車椅子席除く) ※車椅子席はびわ湖ホールチケットセンター(電話・窓口)のみで取扱い。※未就学児童の入場不可。  
※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。 ※最前列は1E列です。

[センチュリー会員先行予約・びわ湖ホール友の会優先発売]9月29日(金)10:00～ ※電話及びネットチケット受付のみ

プレイ  
ガイド

◆センチュリー・チケットサービス ☎06-6848-3311 (平日10:00～18:00) <https://www.jcso.or.jp/ticket/>  
◆びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136 (10:00～19:00火曜休館・休日の場合は翌日) <https://www.biwako-hall.or.jp/>  
◆チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード 232-825] ◆ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード 55618] ◆イープラス <https://eplus.jp/>

©主催 / 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団 共催 / 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール ©後援 / 京都新聞、しがぎん経済文化センター、エフエム京都





# 日本センチュリー交響楽団 びわ湖定期公演 Vol.16

年に一度の“センチュリーびわ湖定期公演”。今年は、日本センチュリー交響楽団と年々その絆が強く結ばれる名匠・秋山和慶ミュージックアドバイザーが、ドイツ音楽の名作をお届けいたします。ソリストには地元・滋賀県大津市出身の久末航が、センチュリーと約5年ぶりの共演で登場！現在ベルリンを拠点とし、国内外でソリストやアンサンブルへの共演オファーが相次ぐ久末が、思い出の地・びわ湖ホールで、若きベートーヴェンが書いたピアノ協奏曲を披露いたします。そしてドイツ・ロマン派を代表する作曲家、ウェーバーとメンデルスゾーンの美しい楽曲がセレクトされました。冬のびわ湖で心温まる珠玉の音世界を、どうぞお聴き逃しなく！

## 指揮 秋山和慶 Kazuyoshi Akiyama, Conductor

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。サンフランシスコ響、クーリヴランド管、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、ロイヤル・フィル、NDR北ドイツ放送響、ケルン放送響、ベルリン放送響、スイス・ロマンド管、チューリッヒ・トーンハレ管などに客演している。これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京響とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月に紫綬褒章、2011年6月には旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞、2015年渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは?」(共著/アルテスパブリッシング刊)を出版。現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。



©堤田力丸

## ピアノ 久末航 Wataru Hisasue, Piano

2017年、ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ部門で第3位及び委嘱作品特別賞を受賞し、一躍国際的に注目を集めた。ほかにも第7回リヨン国際ピアノコンクール第1位及び聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽コンクール第1位及び特別賞を受賞。14歳で京都青山音楽記念館パロックザールにてピアノリサイタルを催し、2009年度青山音楽賞新人賞を受賞。小島燎氏とのデュオで2019年度青山音楽賞パロックザール賞受賞。これまでに、AUDI音楽フェスティバル、ヴェルツブルグ音楽祭、東京・春・音楽祭等に出演するほか、バイエルン放送交響楽団、ヴェルテンベルク・ロイトリンゲン管弦楽団、東京都交響楽団ほか数々のオーケストラと共演。平成25年度平和堂財団芸術奨励賞音楽部門受賞、同財団海外留学助成者。2018/19年度公益財団法人ルームミュージックファンデーション奨学生。シャネル・ピグマリオン・デイズ 2019アーティスト。アールアンフィニ・レーベルよりソノCD「ザ・リサイタル」をリリース、音楽之友社「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。2023年、チェリスト・佐藤晴真氏の3rdアルバムで共演し、ドイツ・グラモフォンよりリリースされる。5歳よりピアノを始める。辰巳晴生・美行、村上久仁子、田隅靖子各氏の指導を受け、高校卒業後に渡欧。フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて研鑽を積み、それぞれ最高位の成績をもって修了。ギレアド・ミシヨリ、エマニュエル・シュトロッセ、パスカル・ドヴァイヨン、クラウス・ヘルヴィヒ各氏に師事。ベルリン在住。



©Janine Guldener

## 管弦楽 日本センチュリー交響楽団 Japan Century Symphony Orchestra

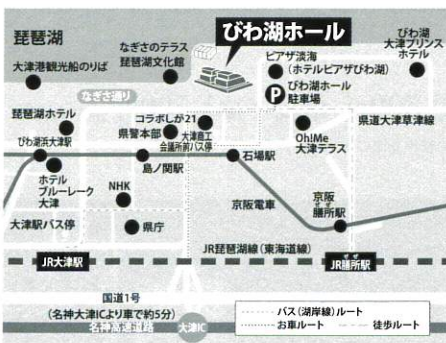
街に響く。心に届く。

1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた大阪府・豊中市を拠点とするオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。2度にわたり大阪府文化祭奨励賞を受賞する(2015年度、2018年度)など、その高水準な演奏は高い評価を得ている。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。「優れた演奏により地域の力を発信する」「オーケストラによる感動と癒しを提供する」「優れた才能を発掘し次世代の育成に寄与する」「国際相互理解や平和に積極的に貢献する」の4つの理念をもとに、本拠地・豊中から日本中へ多くの人々の心に明るい夢が広がることを願い、活動している。

◆オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp>



©Masaharu Eguchi



### びわ湖ホールへの交通のご案内

- JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分またはバス(湖岸線)約5分(大津商工会議所前下車、徒歩約4分)
- JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

滋賀県立芸術劇場

## びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号  
Tel.077-523-7133(代)  
<https://www.biwako-hall.or.jp/>